

# 鼻アレルギー疫学調査より・第5報

出典	耳鼻と臨床(0447-7227)49巻 Suppl. 2 PageS153-S162(2003.09) ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004124324">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2004124324</a> )		
著者	三好彰 他		
調査地域	北海道白老町		
調査時期	1989年7月6日～8日 1990年5月31日～6月2日 1991年6月27日～29日		
調査対象	小学1年生 小学4年生 中学1年生		
依頼数	2677人		
有効回答数	2615人(白老地区:1286人、荻野地区:863人、竹浦・虎杖地区:466人)		
診断方法	鼻鏡検査による診断、くしゃみ・鼻汁・鼻閉のうち2つ以上を持つ、スクラッチテストにてハウスダスト・ダニ・スギのうち1種類以上のアレルギーに陽性反応を示す		
有症率	アレルギー性鼻炎	白老地区:	4.7%
		荻野地区:	4.4%
		竹浦・虎杖地区:	3.9%
スクラッチテストの結果		白老地区:	37.1%
		荻野地区:	35.3%
		竹浦・虎杖地区:	31.8%
調査概要	大気汚染がスギ花粉症などアレルギー性鼻炎増加の原因であるという仮説の検証論文。仮説は立証されず、アレルギー性鼻炎の頻度はアレルギーの暴露量と暴露時間の影響を受けていることが確認された。		